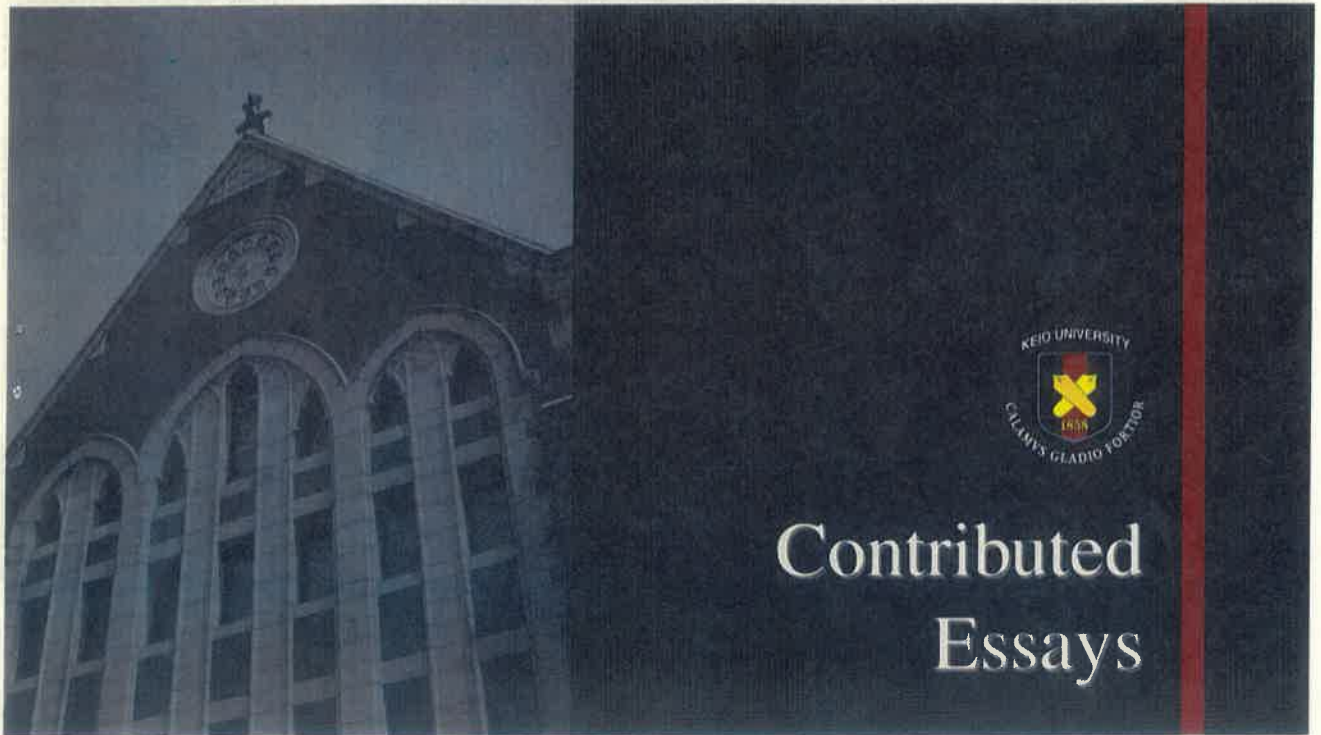


1991-2007



Department of Surgery, Keio University School of Medicine



北島政樹教授にはいつも学会で声をかけていただきました

山形大学消化器・一般外科（第1外科） 教授
木村 理

北島教授には、長いことクリニカル・ビデオフォーラムに声をかけていただき、お世話になりました。この会は最新の外科手技のビデオについて討論し合う会で、山形大学消化器・一般外科（第一外科）はこの会の始まった頃から参加させていただき、発表させていただきました。また私はこれまで何度も座長を当てていただきました。われわれはこの会とともに成長させていただいたと思います。1月あるいは2月の学会の少ない時期に行われるため、やや緊張しておもむいたことを思い出します。会場でお会いしたときにはいつも気さくに声をかけていただき、勇気づけられました。

北島教授には日独外科学会でも声をかけていただきました。2002年にはご家族で参加されていたと思います。ベルリンで行われたシンポジウムです。多数の日独外科学会の重鎮たちの前で発表は緊張感もあり、やりごたえがありました(写真1、2)。先生にはこの中でも暖かく見守っていただきました。講演会のあとの懇親会で集まった日独の外科教授たちによるコーラスは楽しい思い出となりました(写真3)。この部屋はたしか部屋の真ん中を「ベルリンの壁」が通っていたという場所に建てられた建物だったと思います。北島教授には若輩の私をよく覚えていただき、その後はいつもいろいろなところでお会いすると、「ドイツ、よろしく」と声をおかけいただきました。

国際学会の準備会ではいつも前の段にお座りになって、その中心であられたと思います。2004年に横浜市立大学医学部の嶋田紘教授の行ったISDSでもたびたび行われた準備会では学会の合間の早朝にいつも出席され、その精力的な行動力には心を打たれました。

日本の外科医のすべてを包容してやまない北島教授、どうもありがとうございました。これからも学会で声をかけていただければ幸いです。